

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-5)

孔名：H24-D1-5

	コア観察カード		適正化すべき記事内容		報告書柱状図記事		コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)						
	上端深度	下端深度	記事	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度		記事					
			コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>						
125	38.73	38.82	上端は礫状コアのため不明、下端は45°の直線的でシャープな割れ目、その直上側の38.80m以浅では砂状化と幅1mm以下の軟弱な灰白色粘土脈を多く伴い劣化している。	38.71	38.79	上端は礫状コアのため不明、下端は45°の直線的でシャープな割れ目、 それ以浅 は砂状化と幅1mm以下の軟弱な灰白色粘土脈を多く伴い劣化している。	38.71	38.79	38.71~38.79m:上端は礫状コアのため不明、下端は傾斜45°の直線的でシャープな割れ目、この間は砂状化と幅1mm以下の軟弱な灰白色粘土脈を多く伴い、劣化する。				
120	38.73	38.82	(コアの硬さ欄)○ランク	38.71	38.70	(コアの硬さ欄)Eランク	38.71	38.70	(コアの硬さ欄)Eランク				
127	38.79	38.82	(風化欄)δランク	38.79	38.82	(風化欄)γランク	38.79	38.82	(風化欄)γランク				
128	38.82	40.73	硬さC主体で、39.49~39.64mに風化で軟化した硬さDを含む、40~70°割れ目、低密着割れ目が主体で、40.00m以浅では10~20°も分布する。割れ目の一部は薄く砂状化するものも含むが、粘土化部や粘土脈は殆んど分布しない。ただし、硬さDの39.49~39.64mでは上端50°、下端60°割れ目に囲まれ区間内の割れ目ぞいに砂状化が進む部分もある。割れ目の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。	38.79	40.73	硬さC主体で、39.49~39.64mに風化で軟化した硬さDを含む、40~70°割れ目、低密着割れ目が主体で、40.00m以浅では10~20°も分布する。割れ目の一部は薄く砂状化するものも含むが、粘土化部や粘土脈は殆んど分布しない。ただし、硬さDの39.49~39.64mでは上端50°、下端60°割れ目に囲まれ区間内の割れ目ぞいに砂状化が進む部分もある。割れ目の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。	38.79	40.73	38.79~40.73m:傾斜40~70°の割れ目や低密着割れ目が主体で、40.00m以浅では傾斜10~20°のものも分布する。割れ目の一部は薄く砂状化するが、粘土化部や粘土脈は殆んど分布しない。ただし、39.49~39.64mでは上端50°、下端60°の割れ目に囲まれ、風化で軟化した、割れ目ぞいに砂状化が進む部分もある。割れ目の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。				記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
129	39.15	39.49	(コアの形状欄)Vランク	39.15	39.49	(コアの形状欄)IVランク	39.15	39.49	(コアの形状欄)IVランク				
130	39.84	40.51	(コアの形状欄)Vランク	39.84	40.51	(コアの形状欄)IVランク	39.84	40.51	(コアの形状欄)IVランク				
131	40.12	40.12	57°はせん断性割れ目で、交差する40°割れ目を切っている(変位量6mm右ズレ)	40.12	40.12	57°のせん断性割れ目は、交差する40°割れ目を止めている。切っている(変位量6mm右ズレ)割れ目には挟在物は認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。	40.12	40.12	40.12m:傾斜57°の割れ目は、交差する傾斜40°の割れ目を止めている。割れ目には挟在物は認められない。割れ目周辺の岩盤には原岩組織が認められ、系統的な割れ目も存在しない。				
132	40.23	40.23	54°幅0.5~1mmで母岩に密着して石英脈が連続する。	-	-	-	40.23	40.23	40.23m:傾斜54°で幅0.5~1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。				
133	40.52	40.52	60°はせん断性割れ目で交差する20°割れ目を切っている(変位量6mm左ズレ)	40.52	40.52	60°はせん断性割れ目で交差する20°割れ目を切っている(変位量6mm左ズレ)	-	-	-				
134	40.73	40.85	上端55°、下端60°割れ目に囲まれて砂状化。割れ目方向に幅2~3mmの軟弱な灰白~灰赤色(2.5YR 6/2)粘土脈を伴う。	40.73	40.85	上端55°、下端60°割れ目に囲まれて砂状化~マンガン汚染を伴う礫状化。割れ目方向に幅2~3mmの軟弱な灰白~灰赤色(2.5YR 6/2)粘土脈を伴う。	40.73	40.85	40.73~40.85m:上端55°、下端60°の割れ目に囲まれて砂状化~マンガン汚染を伴う礫状化を呈する。割れ目方向に幅2~3mmの軟弱な灰白~灰赤色の粘土脈を伴う。				
135	40.85	41.08	50~60°割れ目が10~30mm間隔で平行に分布。割れ目ぞいに風化進み全体が軟化する。一部でマンガン鉱染を伴う。	40.85	41.08	50~60°割れ目が10~30mm間隔で平行に分布。割れ目ぞいに風化進み全体が軟化する。一部でマンガン鉱染を伴う。	40.85	41.08	40.89~41.08m:傾斜50~60°の割れ目が10~30mm間隔で平行に分布する。割れ目ぞいに風化が進み、全体が軟化する。一部でマンガン鉱染を伴う。				
136	41.08	41.49	硬さBと堅硬で、10~30°割れ目と一部で同角度の低密着割れ目を伴う。両者とも挟在物は挟まない。	41.08	41.49	硬さBと堅硬で、10~30°割れ目と一部で同角度の低密着割れ目を伴う。両者とも挟在物は挟まない。	41.08	41.49	41.08~41.49m:傾斜10~30°の割れ目と一部で同傾斜の低密着割れ目が分布する。両者とも挟在物は挟まない。				記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
137	41.49	42.23	10~30°割れ目、低密着割れ目主体で、一部でこれらに斜交~直交する50~70°ものが分布。交差部のうち、42.15m付近ではφ5~10mmに鱗片化する。	-	-	-	41.49	42.23	41.49~42.23m:傾斜10~30°の割れ目や低密着割れ目が主体で、一部でこれらに斜交~直交する50~70°のものが分布する。交差部のうち、42.15m付近では径5~10mmに鱗片化する。				
138	42.05	-	42.05m以深では幅1mm以下の軟弱な白色粘土脈をはさむ。	42.05	-	42.05m以深では幅1mm以下の軟弱な白色粘土脈をはさむ。	42.05	-	42.05m以深では幅1mm以下の軟弱な白色粘土脈をはさむ。				

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-5)

孔名: H24-D1-5

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を赤字で表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>					
139	42.23	42.74	幅1mm前後の石英脈が割れ目と平行して多数分布。コア自身も一部珪化し硬質化している。50~60° 割れ目が平行に分布。マンガン汚染が目立つ。	42.23	42.74	幅1mm前後の石英脈が割れ目と平行して多数分布。コア自身も一部珪化し硬質化している。50~60° 割れ目が平行に分布。マンガン汚染が目立つ。	42.23	42.74	42.23~42.74m:幅1mm前後の石英脈が割れ目と平行して多数分布する。コア自身も一部珪化し硬質化する。傾斜50~60°の割れ目が平行に分布し、マンガン汚染が目立つ。	
140	42.52	42.52	55° 割れ目の一部は幅2~4mmで砂状、ないし、φ2~3mm細片化するが、粘土は挟まないが、マンガン鉱染で一部黒褐色化する。	42.52	42.52	55° 割れ目の一部は幅2~4mmで砂状、ないし、φ2~3mm細片化するが、粘土は挟まないが、マンガン鉱染で一部黒褐色化する。	42.52	42.52	42.52m:傾斜55°の割れ目の一部が幅2~4mmで砂状、ないし、径2~3mmに細片化する。粘土は挟まないが、マンガン鉱染で一部黒褐色化する。	
141	42.74	43.25	風化により、割れ目の一部は消滅ないし消滅しかかっている。残留する割れ目は50~60° 主体である。粘土42.85m~40° 幅1mm、43.21m~30° 幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。粘土化部は粘土脈は分布しない。	42.74	43.25	風化により、割れ目の一部は消滅ないし消滅しかかっている。残留する割れ目は50~60° 主体である。粘土42.85m~40° 幅1mm、43.21m~30° 幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。粘土化部は粘土脈は分布しない。43.03m~傾斜64° 幅2~4mmの灰白色粘土を挟む。43.03~43.15m間は微細な割れ目にマンガンに伴う。	42.74	43.25	42.74~43.25m:風化で割れ目の一部は消滅ないし消滅しかかっている。残留する割れ目は傾斜50~60°が主体である。42.85mに傾斜40°、43.21mに傾斜30°で幅1mmの石英脈が母岩に密着して連続する。43.03m:傾斜64°で幅2~4mmの灰白色粘土を挟む。43.03~43.15m:微細な割れ目にマンガンに伴う。	
142	42.74	43.25	(変質欄)2ランク	42.74	43.25	(変質欄)3ランク	42.74	43.25	(変質欄)3ランク	
143	43.25	45.09	風化と変質で著しく軟化する硬さEが主体であるが、部分的に硬さDの岩片が残留する。岩組織は残留するが、割れ目はほぼ消滅している。処々に幅1~3mmの軟弱な灰白色粘土を脈状、ないし、網状に含んでいる。	43.25	45.09	風化と変質で著しく軟化する硬さEが主体であるが、部分的に硬さDの岩片が残留する。原岩組織は残留するが、割れ目はほぼ消滅している。所々、幅1~3mmの軟弱な灰白色粘土を脈状、ないし、網状に含んでいる。	43.25	45.09	43.25~45.09m:風化と変質で著しく軟化する硬さEの岩片が残留する。原岩組織は残留するが、割れ目はほぼ消滅している。所々、幅1~3mmの軟弱な灰白色粘土を脈状、ないし、網状に含む。	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
144	-	-	-	43.58	43.76	マンガン汚染が顕著で、一部、径2~30mmに岩片化している。	43.58	43.76	43.58~43.76m:マンガン汚染が顕著で、一部、径2~30mmに岩片化する。	
145	43.80	43.80	60° はせん断性割れ目、上盤側に分布する複数の粘土脈が切られている(変位量不明)	43.80	43.80	60° のせん断性割れ目は、上盤側に分布する複数の粘土脈を止めている。切られている(変位量不明)。割れ目には幅0.5mm以下の不連続な灰白色粘土を挟む。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。	43.80	43.80	43.80m:傾斜60°の割れ目は、上盤側に分布する複数の粘土脈を止めている。割れ目には幅0.5mm以下の不連続な灰白色粘土を挟む。割れ目周辺の岩壁には原岩組織が認められる。	
146	44.00	45.09	(変質欄)3ランク	44.00	45.09	(変質欄)4ランク	44.00	45.09	(変質欄)4ランク	
147	44.30	44.94	硬さDの岩片も多く含む。	-	-	-	44.30	44.94	44.30~44.94m:硬さDの岩片を多く含む。	
148	45.09	45.82	風化により軟化している。30~50° 割れ目が主体であるが、割れ目ぞいに砂状化する。粘土脈は少ないが、45.54m~55° 幅1~2mmの黄褐色粘土脈を挟む。	45.09	45.82	風化により軟化している。30~50° 割れ目が主体であるが、割れ目ぞいに砂状化する。粘土脈は少ないが、45.54m~55° 幅1~2mmの黄褐色粘土脈を挟む。	45.09	45.82	45.09~45.82m:風化で軟化する。傾斜30~50°の割れ目が主体で、割れ目ぞいに砂状化する。粘土脈は少ない。45.54m:傾斜55°で幅1~2mmの黄褐色粘土脈を挟む。	
149	45.82	45.89	上端58°、下端55°の直線的でシャープな割れ目に囲まれ、灰白~灰黄色粘土とφ5~10mmの一部粘土化、一部硬さDのGp岩片からなる粘土混り岩片状の変質部。	45.82	45.89	上端58°、下端55°の直線的でシャープな割れ目に囲まれ、灰白~灰黄色粘土とφ5~10mmの一部粘土化、一部硬さDのGp岩片からなる粘土混り岩片状の変質部。一部、マンガン汚染が顕著で幅2~15mmの岩片を25%程度含む。	45.82	45.89	45.82~45.89m:上端58°、下端55°の直線的でシャープな割れ目に囲まれ、灰白~灰黄色粘土と径5~10mmの一部粘土化、一部硬さDの花崗斑岩の岩片からなる粘土混り岩片状の変質部。一部、マンガン汚染が顕著で幅2~15mmの岩片を25%程度含む。	
150	45.89	47.47	風化により一部の割れ目は消滅、ないし、消滅しかかっている。残留する割れ目は60~70° 主体で、割れ目ぞいに砂状化することが多い。粘土脈の分布は少ないが、46.00~46.20m間では幅1mm前後の軟弱な白色粘土が目立つが、粘土脈としての連続性はない。部分的に軽微なマンガン鉱染を受ける。	45.89	47.47	風化により一部の割れ目は消滅、ないし、消滅しかかっている。残留する割れ目は60~70° 主体で、割れ目ぞいに砂状化することが多い。粘土脈の分布は少ないが、46.00~46.20m間では幅1mm前後の軟弱な白色粘土が目立つが、粘土脈としての連続性はない。部分的に軽微なマンガン鉱染を受ける。	45.89	47.47	45.89~47.47m:風化により一部の割れ目は消滅、ないし、消滅しかかっている。残留する割れ目は傾斜60~70°が主体で、割れ目ぞいに砂状化することが多い。粘土脈の分布は少ない。46.00~46.20m間では幅1mm前後の軟弱な白色粘土が目立つが、粘土脈としての連続性はない。部分的に軽微なマンガン鉱染を受ける。	

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-5)

孔名: H24-D1-5

	コア観察カード		適正化すべき記事内容		報告書柱状図記事		コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
	記事	記事	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	記事	記事	記事	
	上端深度	下端深度	上端深度	下端深度	上端深度	下端深度	
			コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
151	46.73	47.12	(コアの形状欄) Vランク	46.73	47.12	(コアの形状欄) IVランク	-
152	47.20	47.20	50° 割れ目は幅4~7mmでφ2mm石英粒と軟質な白色粘土をはさむ。	47.20	47.20	47.20m: 傾斜50° の割れ目は幅4~7mmで径2mmの石英粒と軟質な白色粘土を挟む。	-
153	47.20	-	47.20m以深では、50° 前後の割れ目、低密着割れ目が1~2cm間隔で分布し、殆んどに幅0.5~2mmの軟弱な白色粘土が付着する。	47.20	-	47.20m以深では、傾斜50° 前後の割れ目や低密着割れ目が1~2cm間隔で分布し、その殆んどに幅0.5~2mmの軟弱な白色粘土が付着する。	-
154	47.20	47.89	(岩級区分欄) CL	47.20	47.89	(岩級区分欄) D	-
155	47.47	47.89	破砕帯(D-1破砕帯)	47.47	47.89	破砕部(D-1破砕帯)	-
156	47.47	47.48	Hc-1(主せん断面・47.47m) 上端65°, 下端65° で、両者とも直線的でシャープに連続。φ1~2mm石英粒を少量含む灰褐色(7.5YR 5/2)の軟弱な粘土。厚さは3~6mm。	47.47	47.48	Hc-1(最新活動面・47.47m) 上端65°, 下端65° で、両者とも直線的でシャープに連続。φ1~2mm石英粒を少量含む灰褐色(7.5YR 5/2)の軟弱な粘土。厚さは3~6mm。 原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織は見られない。	-
157	47.48	47.66	Hb 上端65°, 下端不明瞭で、上端は直線的でシャープ、下端は漸移的である。φ2~3mm石英粒とφ5~10mmの大半が粘土化したGp岩片を含む軟弱な礫質粘土で、粘土は灰黄色(2.5Y 7/2)。石英粒と岩片の多くはマンガン鉱染で黒褐色化する。厚さ67mm(68°)。	47.48	47.66	Hb 上端65°, 下端不明瞭で、上端は直線的でシャープ、下端は漸移的である。φ2~3mm石英粒とφ5~10mmの大半が粘土化したGp岩片を含む軟弱な粘土質礫状部で灰黄色(2.5Y 7/2)。石英粒と岩片の多くはマンガン鉱染で黒褐色化する。厚さ67mm(68°)。 含まれる細粒部は網目状に分布し、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。	-
158	47.66	47.86	Hj 上端不明瞭、下端63° で、下端は直線的でシャープに連続。φ10~40mmの一部粘土化、一部硬さE、ないし、Dの岩片主体で、岩片間の基質は灰黄色~灰白色に粘土化する。石英粒と岩片の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。全体的には粘土混じり岩片状で、色調は灰黄~黒褐色である。厚さは90mm(63°)。	47.66	47.86	Hj 上端不明瞭、下端63° で、下端は直線的でシャープに連続。φ10~40mmの一部粘土化、一部硬さE、ないし、Dの岩片主体で、岩片間の基質は灰黄色~灰白色に粘土化する。石英粒と岩片の一部はマンガン鉱染で黒褐色化する。全体的には粘土混じり岩片状で、色調は灰黄~灰白色である。厚さは90mm(63°)。 やや軟質。含まれる細粒部は網目状に分布し、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。	-
159	47.86	47.89	Hc-2 上端63°, 下端60° で、両者とも直線的でシャープに連続。φ2~10mmの石英粒を多く含む灰白色の軟弱粘土で、厚さ15mm(60°)。	47.86	47.89	Hb 上端63°, 下端60° で、両者とも直線的でシャープに連続。φ2~10mmの石英粒を多く含む灰白色の軟弱な粘土質礫状部で、厚さ15mm(60°)。含まれる細粒部は網目状に分布し、原岩組織が認められる岩片を主体とし、基質も細粒化した岩片からなる組織が見られる。	-
160	47.86	47.89	(破砕度区分欄) Hc-2	47.86	47.89	(破砕度区分) Hb	-
161	47.66	47.89	(変質欄) 3ランク	47.66	47.89	(変質欄) 4ランク	-

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-5)

孔名: H24-D1-5

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容	
		コア観察カードから正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>			追加変更した情報が正しく転記されているか? <input checked="" type="checkbox"/>				
162	47.89	48.30	47.89	48.30	47.89	48.30	47.89	48.30	-
163	48.30	48.61	48.30	48.61	48.30	48.61	48.30	48.61	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
164	48.61	49.50	48.61	49.38	48.61	49.38	48.61	49.38	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
165	49.25	49.38	49.25	49.38	49.25	49.38	49.25	49.38	
166	49.38	49.50	49.38	49.50	49.38	49.50	49.30	49.50	
167	49.50	52.75	49.38	52.75	49.38	52.75	49.38	52.75	記事欄以外から読み取れる硬さの情報は記載しない
168	50.63	50.66	50.63	50.66	50.63	50.66	50.63	50.66	
169	50.73	50.75	50.73	50.85	50.73	50.85	50.73	50.85	
170	51.38	51.42	51.38	51.42	51.38	51.42	51.38	51.42	
171	52.17	52.17	52.17	52.17	52.17	52.17	52.17	52.17	
172	52.75	53.58	52.75	53.58	52.75	53.58	52.75	53.58	
173	52.91	52.91	-	-	-	-	52.91	52.91	

コア観察カード⇒報告書柱状図記載記事チェックシート(H24-D1-5)

孔名：H24-D1-5

コア観察カード			適正化すべき記事内容			報告書柱状図記事			コア観察カードの適正化すべき記事内容から記事を削除・変更・追記した理由 (コア観察カードからの変更点) (コア観察カードを適正化している場合は、それとの変更点)	
上端深度	下端深度	記事	上端深度	下端深度	記事 (変更箇所を朱書きで表示) (変更していないものは「-」で表示)	上端深度	下端深度	選定した記事内容		
		コア観察カードから正しく転記されているか？ <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></div>			追加変更した情報が正しく転記されているか？ <div style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></div>					
174	53.58	54.00	20~60° 割れ目と一部で同方向の低密着割れ目も分布するが、一部では、ハンマーの打撃で低密着割れ目ぞいに分離→岩片化する。	53.58	54.00	20~60° 割れ目と一部で同方向の低密着割れ目も分布するが、一部では、ハンマーの打撃で低密着割れ目ぞいに分離、岩片化する。	53.58	54.00	53.58~54.00m: 傾斜20~60° の割れ目と一部で同方向の低密着割れ目も分布する。一部では、ハンマーの打撃で低密着割れ目ぞいに分離、岩片化する。	-
175	54.00	54.00	54mで検尺	54.00	54.00	54mで検尺	-	-	-	-